

建築文化週間 学生グランプリ 2019

銀茶会の茶席 作品募集

テーマ

あや
「綾」

日本建築学会では、全銀座会からの
依頼を受け、10月に銀座通り周辺で開催される
[「銀茶会」](#)*において銀座三越の会場で展示され、
実際にお茶席として使用される創作茶席の設計・制作案を募集します。

2018年実施制作 華美一乾漆茶席

茶道に通じた依頼者のために誠意ある提案を行い、設計課題等のように1/10模型を作成して講評を受けるだけに留まらず、コンペによって入選した作品は全銀座会催事委員会および日本建築学会建築文化事業委員会による指導のもと1/1模型を制作し、その中でも最優秀賞を受賞した作品は銀座三越にて展示・使用を目的とした実施設計と制作を行います。

実際に使用される建築物を設計、制作する経験を通じて、同世代の仲間との交流や建築のおもしろさ、難しさを是非体験してください。創意あふれる提案を期待しています。

*「銀茶会」は、年に一度、銀座通りの周辺にお茶席を設けて行われる野点大茶会である。当日は、表千家、裏千家、武者小路千家、江戸千家、遠州流茶道、煎茶道の六流派のお茶席のほか、点茶の体験コーナーがあり、2019年で18回を迎える。2009年から、銀座三越の会場で学生の設計・制作による学生創作茶席を展示・使用している。

※過去の受賞作品は[こちらのアーカイブ](#)よりご覧いただけます。

主催：日本建築学会
共催：全銀座会



2018年銀茶会(銀座三越新館9階)の風景

1. 募集内容

概要：銀茶会での展示・使用を目的とした創作茶席の実施設計・制作案の募集

テーマ：「綾-あや」

2020年を迎えるにあたり、多種多様に混じり合う人や文化を互いに認め合い、調和することを「綾」の文字で表現した。碁盤目状の街並み、多くの文化、そして時間の流れ、たくさんの「綾」があることは銀座の魅力である。

対象：建築またはデザイン系の学校（大学院、大学、短大、高専など）に通う学生3名以上のメンバーで構成された設計チーム。構造系のメンバーを含めることが望ましい。

規模：2畳を基本とし、縦4,000mm×横4,000mm×高さ2,400mm以内に収まるものとする。

材料・構造・仕上げ：自由

会場：日本建築学会建築会館ホール、[銀座三越新館9階テラスコート](#)

条件：①銀座（銀座三越）にて展示・使用されることが考慮されていること

- ②与えられたテーマへの取り組みや独自性があること
- ③構造面の自立性に問題がないこと
- ④茶席での使用が安全に行えること
- ⑤外からお点前の様子が見えるようにすること
- ⑥茶道口とにじり口を設けること

著作権およびその利用：

作品の著作権は、作成者に帰属する。ただし、日本建築学会および日本建築学会が委託したものが、この事業の趣旨に則して作品を会誌またはホームページへの掲載、全銀座会による印刷物、展示などでの公表等に用いる場合は、作成者は無償で提出物等の利用を認めることとする。

応募方法：下記提出物を、郵送・宅配便・電子メール等にて「5. 応募先・問合せ」へ送付、もしくは持参すること。なお、応募にあたっては下記事項に十分留意し、提出時に再度確認すること。

提出物：①応募用紙

[本会ホームページより所定の応募用紙をダウンロード](#)して必要事項を記入し、Excelデータにファイル名（作品名・代表者名）をつけ、電子メールにて下記提出先へ送ること。

②A1 パネル1枚のPDFデータ

A1 パネルのPDFデータにファイル名（作品名・代表者名）をつけ、応募用紙と同様に電子メールにて下記提出先へ送ること。

※①②提出先：日本建築学会 建築文化週間 学生グランプリ係 goryoda@aij.or.jp

③1/10 模型

1作品ごとに積上げできる箱に梱包してあること。

④A1 パネル1枚

スチレンボードまたはハレパネに貼り付けた状態で提出（サイズ厳守、額は不要）。パネルの裏面には印刷した応募用紙を貼り、表面には応募者を特定できる情報を記載しないこと。

注1)③④において、模型とパネルはそれぞれ梱包し、1チームごとに提出すること。（管理の都合上、同じ学校からの提出でも1箱に複数の作品を入れないこと。）提出先は、「5. 応募先・問合せ」参照。

注 2) 応募された作品は原則返却しない。特に返却を必要とする場合は、応募時に記入済みの着払い伝票を必要枚数分パネルへ同封し、別途応募用紙の備考欄にて選択すること。なお、運送費は応募者の自己負担（着払い）であり、返却は11月～12月頃を予定。提出物が不十分な場合は返却の対象外となるため留意すること。

応募締切日：2019年8月1日（木）17:00 必着（持参可）

2. 応募条件・サポート等

- 1) 応募作品は、応募者を含む学生チームにて期間内に制作可能なものとする。学生協同者は原則応募者が募集する。2次審査時には協同者にも表彰する。
- 2) 第一次審査で入選したチームには、1/1 模型材料費として1チームあたり上限12万円ずつサポートする。原則として模型材料購入・運搬費とする。遠方のチームは旅費、宿泊費としても使用することができる。ただし、飲食費等には使用できない。
- 3) 入選したチームは1/1 模型制作説明会において、構造設計の専門家からエスキスチェックを受けることとする。
- 4) 第二次審査で最優秀賞のチームには、銀座三越の「銀茶会」において展示・使用される実施制作費として上限20万円をサポートする。
- 5) 実施制作する作品については、主催者が必要と認める範囲内において、第二次審査の1/1 模型から変更を求めることもあり得る。
- 6) 最優秀賞チームの「銀茶会」（銀座三越）への交通費・宿泊費・運搬費は自己負担とする。

3. 審査方法

下記の2段階審査とする。

第一次審査

日 程：2019年8月9日（金）13:00～16:00

会 場：建築博物館ギャラリー（東京都港区芝5-26-20）

提出物および審査対象：応募時の1/10 模型、A1 パネル1枚

入 選：3～4チーム

※入選したチームは、第二次審査までに1/1 模型の制作を行う

審査員：都合により変更することがある

<審査員長>

中村 晃子（建築文化事業委員会委員長／日建設計設計部門ダイレクター）

<審査員>

山本 豊津（東京画廊代表取締役社長）

本阿彌守光（武者小路千家）

風間 喜一（表千家同門会東京支部事務長）

木村 知弘（丹下都市建築設計取締役副社長）

原田裕季子（相模屋美術店）

鵜飼 哲矢（九州大学大学院准教授）

斎藤 公男（日本大学名誉教授）

坂口 裕美（大成建設関西支店設計部）

佐藤 淳（東京大学准教授／佐藤淳構造設計事務所主宰）

濱野 裕司（竹中工務店東京本店設計部長）

松田 達（武蔵野大学専任講師／松田達建築設計事務所主宰）

第二次審査

日時：2019年10月6日（日）13:30～15:30

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

提出物および審査対象：

1/1 模型（銀茶会での実施を見込んで制作する）、A1 パネル1枚、プレゼンテーション

審査会場での制作期間：10月5日（土）～6日（日）13:00

賞：最優秀賞1点／優秀賞1点／入選1～2点 ※共に賞状・記念品を贈呈

※最優秀賞のチームは東京・銀座で開催される「銀茶会」において、実際に銀座三越で展示・使用される茶席を実施制作する。また、展示期間中に使用される際には現地にてサポートを行う。

審査員：都合により変更することがある

<審査員長>

丹下 憲孝（丹下都市建築設計会長）

<審査員>

本阿彌守光（武者小路千家）

木村 知弘（丹下都市建築設計取締役副社長）

東海林憲昭（三越銀座店長）

伊藤 明（全銀座会催事委員長）

鵜飼 哲矢（前掲）

坂口 裕美（前掲）

佐藤 淳（前掲）

中村 晃子（前掲）

4. スケジュール

応募締切	8月1日（木）17時必着（持参可）
応募作品展示	8月3日（土）～12日（月・祝）（建築博物館ギャラリー）
第一次審査	8月9日（金）13:00～16:00（建築博物館ギャラリー）
1/1 模型制作説明会 （エスキスチェック）	8月16日（金）（日本建築学会 会議室）
第二次審査	10月6日（日）13:30～15:30（建築会館ホール）
学生創作茶席 設営日	10月23日（水）（東京・銀座三越新館9階テラスコート）
展示	10月24日（木）～28日（月）
お茶席	10月26日（土）～27日（日）
撤去日	10月28日（月）
銀茶会	10月27日（日）

5. 応募先・問合せ

日本建築学会 建築文化週間 学生グランプリ係

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL：03-3456-2056 E-mail：goryoda@aij.or.jp